

A. がんゲノム医療外来(保険)：当院通院中の患者

● 広大病院に通院中の患者さんへのご案内

<受診の予約>

当院通院中の方は、主治医に相談し、遺伝子診療科（がんゲノム医療外来）の受診予約を取ってください。

<受診日までに準備する書類>

主治医から受け取った「がんゲノム医療外来受診セット」の「③-1-a がんゲノム医療外来（保険）についてのご案内」を参考に準備してください。受診までに「③-2 がんゲノム医療外来問診票」と「③-3 ご家族の病歴記入用紙」に記入して受診日に持参してください。

<受診日の流れ>

受診日にご持参いただくものは、診察券・保険証・限度額適用認定証など、③-2 問診票、③-3 病歴記入用紙です。

受診日に、各診療科の主治医の先生から検査の説明（同意書への署名）を受けたのち、遺伝子診療科にて二次的所見（遺伝性腫瘍）についての説明を受けていただきます。合計で1時間半～2時間程度かかることがあります。

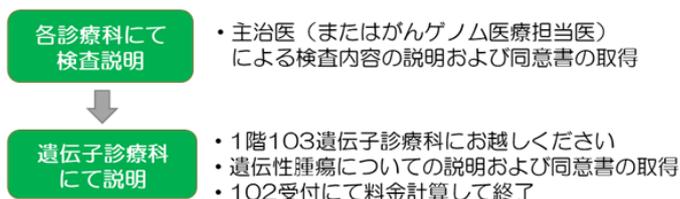
がんゲノム医療外来（当院に通院中の患者）の場合の流れ

がんゲノム医療外来（保険；腫瘍検体）についてのご案内 対象：広島大学病院に通院中の患者さん

※診察後、保険適用で検査ができないと判断される場合もあります
ご希望された場合、自費での検査も可能です。

- ▶ 受診日にご持参いただくもの
 - 診察券・保険証・限度額適用認定証など
 - ③-2 がんゲノム医療外来 問診票*
 - ③-3 ご家族の病歴記入用紙（記入例あり）*
- *受診日までにご記入いただき、当日ご持参ください。

▶ 受診当日の流れ



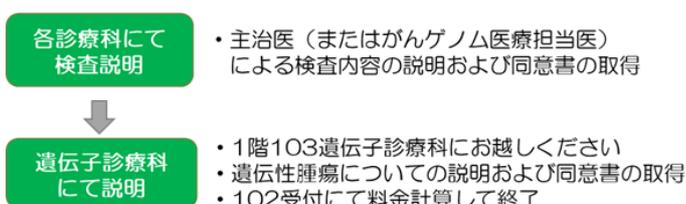
③-1-a

がんゲノム医療外来（保険；リキッドバイオプシー） についてのご案内 対象：広島大学病院に通院中の患者さん

※診察後、保険適用で検査ができないと判断される場合もあります
ご希望された場合、自費での検査も可能です。

- ▶ 受診日にご持参いただくもの
 - 診察券・保険証・限度額適用認定証など
 - ③-2 がんゲノム医療外来 問診票*
 - ③-3 ご家族の病歴記入用紙（記入例あり）*
- *受診日までにご記入いただき、当日ご持参ください。

▶ 受診当日の流れ



<検査の開始と費用について>

通常、受診日から1～2週間以内に病理検体が検査会社に提出され、検査が開始となります。

がんゲノム医療外来の検査の場合、医療機関に入院中は、病理検体の提出ができません。病理検体提出日には、入院中でないことの確認と、1回目の検査料金が発生することについて、遺伝子診療科よりお電話で確認させていただきます。

がんゲノム医療外来（保険）の費用（広大病院に通院中の患者さん）

（保険；腫瘍検体）

➤ がんゲノム医療外来の費用について（保険診療の場合）

※高額療養費の適用の場合、自己負担限度額が変わります

受診当日 初診料(2,880円：3割負担の場合860円)または再診料(740円：3割負担の場合：220円)

**病理検体
提出
(約1週間後)**

入院中は病理検体が提出できません。
病理検体提出日、患者さんにご確認のお電話をいたします。
検査料および説明料として45万円
(3割負担の場合約15万円)
※後日郵送にて請求書送付→振込でお支払い
➤ 検査中止の場合でも返金はありません。
➤ リキッドバイオブシーに変更になる場合には再度45万円(3割負担の場合約15万円)

**結果説明
(約2か月後)**

解析料および説明料として12万円(3割負担の場合約4万円)

（保険；リキッドバイオブシー）

➤ がんゲノム医療外来の費用について（保険診療の場合）

※高額療養費の適用の場合、自己負担限度額が変わります

受診当日

初診料(2,880円：3割負担の場合860円)または再診料(740円：3割負担の場合：220円)

**採血当日
(受診と同日の
場合あり)**

入院中は検査が提出できません。
検査料および説明料として45万円
(3割負担の場合約15万円)

**結果説明
(約2か月後)**

解析料および説明料として12万円(3割負担の場合約4万円)

●院内の主治医の先生方へのお願い

「②-a がんゲノム医療外来（保険） 広島大学病院主治医申込みマニュアル」を参照してください

A-1) がんゲノム医療外来受診予約について

<保険適用の確認>

主治医申込みマニュアルの保険適用チェックリスト（広島大学病院主治医用）を確認してください。

必ず「がんゲノム医療担当責任医」と相談して保険適用の有無の確認をお願いします。

<患者さんへの書類の依頼>

患者さんに「がんゲノム医療外来受診セット③-1-a, ③-2, ③-3」を渡して遺伝子診療科受診までに記入を依頼してください。（③-1-a, ③-2, ③-3 は電子カルテから印刷：ナビゲーションマップ→カルテ記載→文書作成→(共通内)01.説明・同意書→56.遺伝子診療科）→1.1, 1.2, 1.3

<がんゲノム医療外来の申込み>

以下の1)～3)を準備したのち、「がんゲノム医療外来（保険）申込書」を電カルテンプレートから確定した後、申込書に必要事項を記入後、カルテに展開して保存してください。

（「がんゲノム医療外来（保険）申込書」は、電カル内：ナビゲーションマップ→カルテ記載→（コンテンツ内）テンプレート→（科別内）遺伝子診療科→「がんゲノム医療外来（保険）申込書」）

1) 保険適用チェックリスト、

2) 病理検体情報（注意事項の確認をしてください。複数検体がある場合や不明な点がある場合は、必ず遺伝子診療科に連絡してください。検体の準備に時間がかかることがよくあります）

3) 必要データの確認（C-CAT 1章・2章を記入、所要時間 20分程度）を確認してチェックしてください。C-CAT情報は電子カルテエクセルチャートから：ナビゲーションマップ→カルテ記載→Excelチャート→新規作成→56.遺伝子診療科→「がん遺伝子パネル検査 C-CAT 入力用」を選んで確定→情報を入力→「一時保存」して終了（必ず「一時保存」をお願いします。今後、3章の入力ができなくなります）

遺伝子診療科へのコンサルテーション（日未定）を入力後、遺伝子診療科に電話（内線 5965）して受診日の日程調整をしてください。

A-2) がんゲノム医療外来受診日の流れ

広島大学病院に通院中の患者さんの場合、説明・同意書などの必要な書類は、電子カルテよりダウンロード・印刷して準備をしてください。（「がん遺伝子パネル検査に関する説明文書、同意書」電カル内：ナビゲーションマップ→カルテ記載→文書作成→（共通内）01.説明・同意書→56.遺伝子診療科→がん遺伝子パネル検査に関する説明文書、同意書）

（注意）遺伝子診療科にご連絡いただければ、説明・同意書などの必要な書類の入ったファイルを準備します。

各診療科で検査の同意が得られた後、遺伝子診療科で二次的所見の説明を行います（遺伝カウンセリング、所要時間は約 30分）。検査の種類によっては遺伝子診療科で採血をします。

A-3) 検査開始後に必要な手続き

検体（パラフィン包埋ブロック：FFPE）が院外にある場合、各主治医の方でFFPEの貸し出しを先方に依頼して取り寄せるか、「⑤ 臨床情報・病理検体の送付についてのお願ひ」を参考にして遺伝子診療科にFFPEの送付をご依頼ください。（薄切作成後、返却は遺伝子診療科から行います）

検査の開始には、カルテに以下の2点の入力が必須です。

電子カルテに「がん遺伝子パネル検査保険適用チェックリスト」の記載をお願いします。（ナビゲーションマップ／カルテ記載／テンプレート／共通／遺伝子診療科）

電子カルテ上で、C-CAT 登録用エクセルファイルの 1 章の記入（約 10 分）を翌日までにおねがいします。（ナビゲーションマップ／カルテ記載／コンテンツ／EXCEL チャート／新規作成／遺伝子診療科／がん遺伝子パネル検査 C-CAT 入力用）

以上で、病理検体の提出までの手続きは完了です。以後は、エキスパートパネルの準備などについて、遺伝子診療科からメールで連絡がありますので、ご対応をよろしくお願いいたします。